

認知症小唄

2007年頃、千葉県認知症対策研究会のメンバーとして、いかに県民に認知症のことを議論しました。私は変え歌を広めればよいと考え、たまたま歌詞が浮かんだのでまとめたものです。歌詞の内容はぎびしいものもありますが、普段臨床で感じていることを率直に表現しました。

認知症小唄 千葉労災病院 安田 清

お座敷小唄 または ふるさとのメロディで

- 1 いくら予防をしても
なるときやなるさ 認知症
さっさと行こう 度胸きめ もの忘れ外来に
- 2 今じゃ薬もでているよ
だけど遅れりゃ効き目なし
早めに飲もう その薬 そして探そう 後見人
- 3 私しや病院いかないと
言い張るお人は電話とれ
やさしい声が待っている 無料相談 家族の会
- 4 嘆くひまありゃ 工夫しろ 首かけ手帳に 電子機器
携帯電話も教えます 薬の時間と 帰る道
- 5 一人で隠れて悩んでも うつ病出てくる 認知症
お迎え 風呂付 ランチ付き おしゃべり楽しいディサービス
- 6 あれれ変だよ友達が このごろ目立つ もの忘れ
だけど見捨てちゃ いけません そのうち自分も捨てられる
- 7 介護地獄も虐待も 支えがないから 起きるのさ
みんなで助けりゃ こわくない 明日の笑顔を 信じよう